

体験寺子屋事業 実践事例（取組の一例）

実施区分
1泊2日

■ 実施主体

地域住民で組織する青少年育成団体

■ 参加対象

小学1～6年生

■ 実施・宿泊場所

野外活動センター

■ 事業の目的

- ☑ キャンプによる野外生活を通じて、自立の精神や決断力、臨機応変に対応する力を養う
- ☑ 自然の中で、仲間と協力しながら生活することでチャレンジ精神を養い、達成感と自信を得る

■ 体験活動の内容

野外体験活動（キャンプ、キャンプクラフト作成、野外料理、キャンプファイヤー、ハイキング）など

■ スケジュール

時間	1日目(土曜日)	2日目(日曜日)
6:00	-	・起床(6:00) ・朝食準備⇒朝食
12:00	・現地集合 ・開校式(12:00～) ・宿泊地までハイキング ・テント設営	・テント片付け ・ハイキング ・閉校式(13:00)
18:00	・キャンプクラフト作り ・夕食準備⇒夕食	-
21:00	・キャンプファイヤー ・就寝(21:00)	-

■ 経費内訳

歳入項目	金額	内容	歳出項目	金額	内容
補助金	20,000円	県補助金	報償費	5,000円	ボランティア謝礼
参加者負担	20,000円	1,000円 ×20人	旅費	5,000円	交通費
合計	40,000円		需用費	20,000円	材料費 消耗品費 印刷製本費 感染症対策
			役務費	5,000円	保険代
			使用料	5,000円	施設使用料
			合計	40,000円	

Point

補助金額は補助対象経費の
1/2以内(上限あり)



■ 工夫した点

- ☑ 事業実施前に運営メンバーでテント設営研修を行い、スムーズな事業実施につなげた（謝礼を報償費にて支出・交付決定日以降の支出に限る）
- ☑ 地域住民から食材の寄附を受けたため、食材費の支出が不要となり、経費の削減につながった
- ☑ 公営の野外活動センターの利用やキャンプクラフト（道具）を手作りすることで、経費の削減につなげた